

水田へのわらすき込みから堆肥施用への転換による水田からのメタン排出削減(A002)

【プロジェクト概要】

水田に施用する有機物を、わら(稲わら、麦わら)から有機物の分解が進んだ堆肥に転換することで CH₄ 発生量を抑えるプロジェクト

【プロジェクトの適格性基準】

条件1. 稲作を行っている間欠灌漑水田及び常時湛水田であること

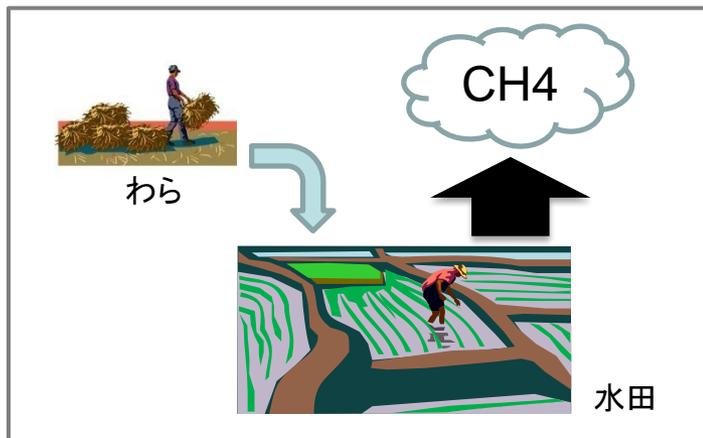
条件2. わらのすき込みのみから、プロジェクトの実施により堆肥施用のみに転換されること

条件3. プロジェクト実施によりすき込まれなくなったわらが、他の水田にすき込まれないこと

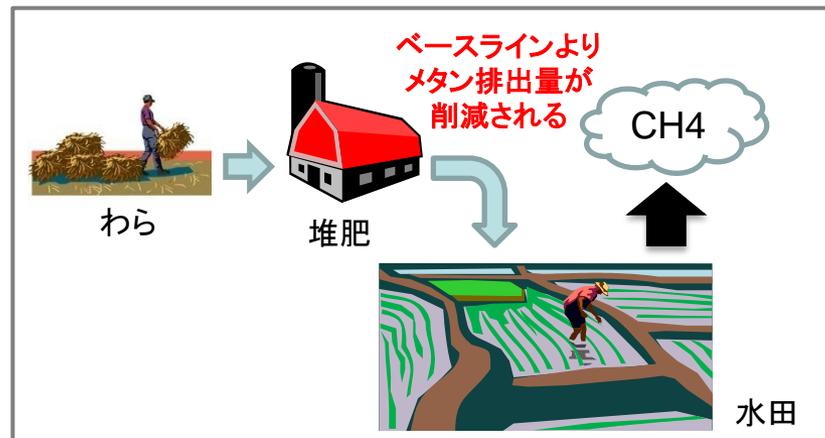
条件4. プロジェクト実施後の年間堆肥施用量が、1t/10aもしくは都道府県・自治体等で設定されている施肥基準を下回り、かつその選択した基準の50%を上回っていること

条件5. プロジェクト参加者のJ-VER制度への参加意思について把握されること

【プロジェクト実施前】



【プロジェクト実施後】



※【排出削減量算定のための主なモニタリング項目】

- ①堆肥が施用される水田の面積
- ②堆肥の施用量